

Headline

令和 2 年 6 月 25 日（木）3, 4 校時

「令和 2 年度クラス別英語発表会開催」

Microsoft TEAMS を活用し、県内在住の外国人をオンラインでゲストに迎え、課題研究の英語発表会を校内 7 か所で同時に実施しました。計 105 班は各会場に分かれ、昨年度取り組んだ課題研究の内容を英語で発表し、英語で質疑応答を行いました。この経験を通じて、生徒達は本物の英語のコミュニケーションの難しさと醍醐味を理解し、グローバル社会で活躍するために必要な資質・能力を実感することができました。

本文

令和 2 年 6 月 25 日（木）3, 4 校時

「令和 2 年度クラス別英語発表会開催」

「SG 課題研究 III」を引き継いだ「M 探 III」では、昨年度から取り組んできた課題研究の成果を英語でプレゼンテーションし、その内容・方法を切磋琢磨することで、国際的な発信力・コミュニケーション能力をはじめとしたグローバル・リーダーに求められる資質を涵養するとともに、一連の課題研究の取り組みの集大成とすることを目的としています。

例年は岩手大学の留学生をゲストにお招きし、各会場で国際学会のようなオーセンティックな雰囲気醸成しています。英語で発表を行い、質疑応答をなんとかやり遂げる経験を通じて、生徒達は英語で自分の伝えたいことを伝えることの意義や、英語力自体の向上の必要性を実感することができ、とても良い教育機会となっていました。

しかしながら、今年度はコロナウィルスの禍中、対面でのコミュニケーションを避けなければならない、学校外の方をお招きするのが難しい、外国人留学生を取り巻く現状が大変であるといった事情から、例年通り計画を立てることができずに困っていました。

関係各所と協議した結果、リモートワーク推進のために岩手県が契約した「Microsoft TEAMS」を活用し、岩手県国際交流協会に聴講者を紹介してもらい、本校情報管理課の支援を仰ぎながら、今年度はオンラインで生徒と岩手県在住の外国人を繋ぐことによって、英語発表会を行うこととなりました。

今回ご協力いただいたゲストは、ミカ・ジラニー・相良さん（フィリピン）、ミラ・ムカイさん（フィリピン）、安江ダワースレンさん（モンゴル）、チェンジャー・ハウルさん（マレーシア）、廣瀬カロールさん（ペルー）、アン・ワクカさん（ケニア）、アンジェリン・クルズ先生（本校 ALT）の計 7 名です。

同時に 7 会場で外国人のゲストの皆さんと繋がり、英語でコミュニケーションを取りながら発表を進めていくのは、とても難しいことでした。そこには 3 つの壁が立ちふさがったのです。つまり、情報機器の扱いという技術的な壁、英語の壁、そして遠隔コミュニケーションの壁です。

当日は特に技術的な壁が大きく立ちふさがりました。ゲストとオンラインでうまく繋がらない。ゲストの音声会場に聞こえない。途中で通信が遮断されてしまう。スライドが共有できない。予測不能な事態が次から次と訪れ、外国人ゲストの皆様には多大なご迷惑をおかけしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

しかしながら、上記のような技術的な壁を、ゲストと協力しながら英語で奮闘し乗り越えた経験は、ポストコロナ時代の教育をこれから切り開いていく上で、本校職員にとっても、生徒にとっても、大きな自信となりました。

会の後には、外国人ゲストの皆様から温かい感想をいただき、なんとか成功裡に終わったことを証明してくれました。以下にそのコメントの一例を添付するので、是非ご覧ください。

It was such a fruitful time for me having a chance to hear the energetic powerful young voices. Your students just surprised me that they could speak in English this fluently! So sorry for not able to attend the next program in July but wish you to success just like today! Thank you for having me today!

Today I had great fun with the presentations. Unfortunately, because of the technical problems, I couldn't see all the power points and I am afraid I didn't see all the presentations either, I am so sorry. I had the time but I assume HS is very tight with their schedule. Anyways, I was very impressed by how the students were able to give the presentation without the PP, also I liked how the students put a lot of effort into this project. Some of them might even continue it or adjust it to their lifestyle after graduating even. All the themes were very interesting and have a good vision for the best to improve or help the future in many aspects. Thank you very much

今回は別添のルーブリックに基づき、生徒同士でピア評価を行いました。各会場で最高得点を取った班は、クラス代表として来週行う予定の全体英語発表会で発表を行います。選出されたのは以下の班です。

クラス	代表	点数
3-1	613 古舘	8.71/10
3-2	409 泉澤、西森	8.75/10
3-3	418 石川、鈴木、杉村	9.18/10
3-4	425 鈴口	9.27/10
3-5	609 高橋希来	9.25/10
3-6	137 川上	8.19/10
3-7	706 上部、金澤、平	9.79/10

※ 全体平均 8.06/10

いずれもアクションが充実し、プレゼンテーションにも力を入れた素晴らしい発表でした。

